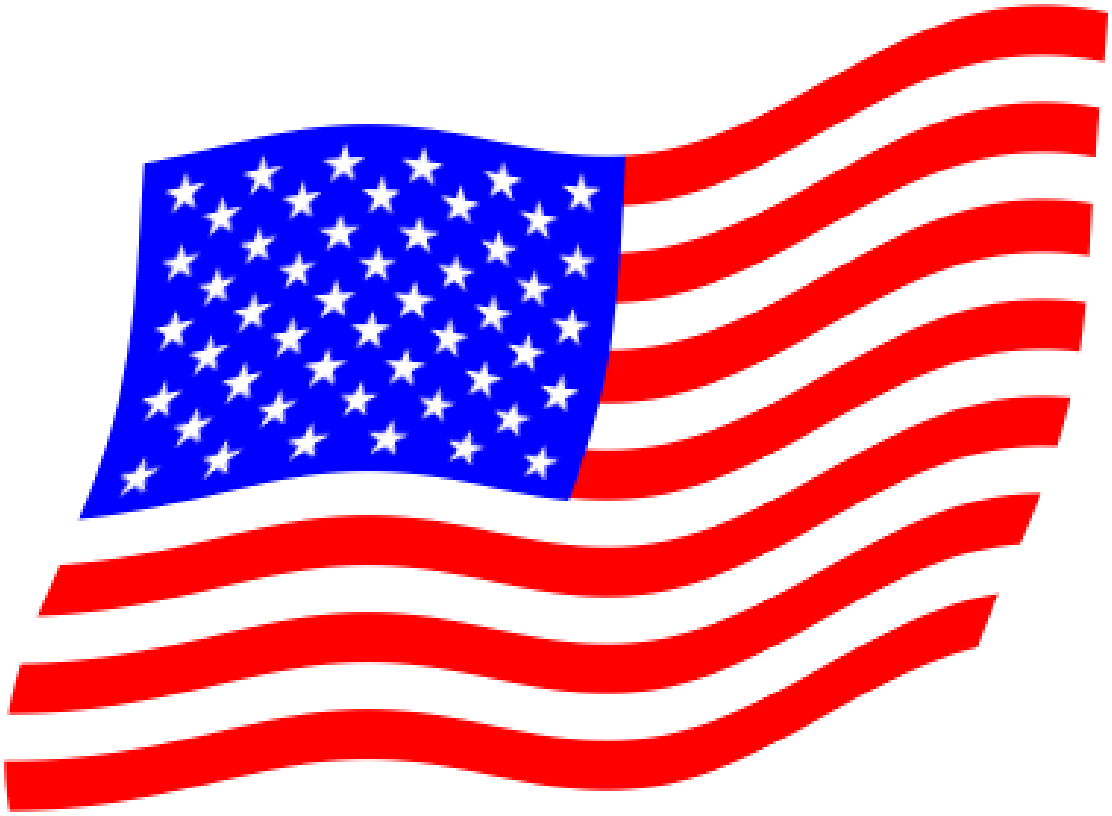
ユビキタス発電研究会定例会
2022.8.27

K.Nishino

米国・ブラジルの
UFO公聴会について



最近の米国UFO経緯

17.12 NYTが 海軍撮影UFO動画の存在を暴露

⇒19.9　海軍報道官、動画は 海軍のものと認定

20.4　国防総省 海軍動画と承認。加えて 海軍サイトで 関係資料と共に公開 NAVAIR - FOIA

20.6　上院情報委員会で、UAP情報の報告・収集の法制化(案)を審議・可決。予算も明記

⇒20.12 トランプ大統領 2021年歳出法案に署名

⇒21.6　UFOレポート(政府内UAP情報)報告(公開)

21.12 バイデン大統領 2022年歳出法案に署名

UAPオフィス設置法

米国UAPオフィスまでの調査機関

20.6　国防総省 米海軍に
UAPタスクフォース [UAPTF] 設置

21.11　国防総省 国防次官室（諜報・安全保障担当）に
エームソング
空中物体識別・管理同期グループ 設置
[AOIMSG ：Airborne Object Identification and Management Synchronization Group]

22.8　国防総省 国防次官室（諜報・安全保障担当）に
UAPオフィス
全ドメイン異常解決局 設置
[AARO：All-domain Anomaly Resolution Office]

UFO・UAP・AAV・OVNI・ORB

UFO	Unidentified Flying Object
	未確認飛行物体
UAP	Unidentified Aerial Phenomenon
	未確認航空現象
UAC	Unidentified Air Conditions
	未確認大気状態‥中国
AAV	Anomalous Aerial Vehicle
	異常な航空機
OVNI	Objet Volant Non Identifié
	未確認飛行物体‥仏語
ORB	glowing ORB
	輝く光球

UAPの定義

(A) すぐには識別できない 空中のオブジェクト
(B) トランスメディア・オブジェクト
(C) すぐには識別できない 水中のオブジェクト

トランスメディア [transmedium]・オブジェクト

宇宙と大気の間、または大気と水域の間で
遷移することが観察され、
すぐには識別できないオブジェクト

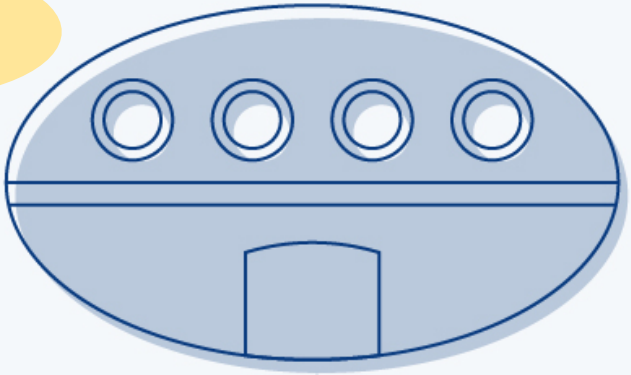
2019 the US Navy filmed “SPHERICAL” shaped UFOs going into the water

米国 UFOレポート の概要

2004年 から 2021年 までの 144件

不明

143
Unexplained UAP
sighting reports



気球

1

Explained UAP
sighting reports

80件
複数センサーに
より追跡

18件
異常な推進技術

UFO?

たった
9ページ

報告書のUAP：5つのカテゴリー

空中クラッター　（レーダー反射の際に発生する、不要な電波）

鳥、風船、ドローン、その他の無人機

自然大気現象

気象関連の現象およびその他の天然資源

政府または業界技術

米国の事業体によって開発された技術

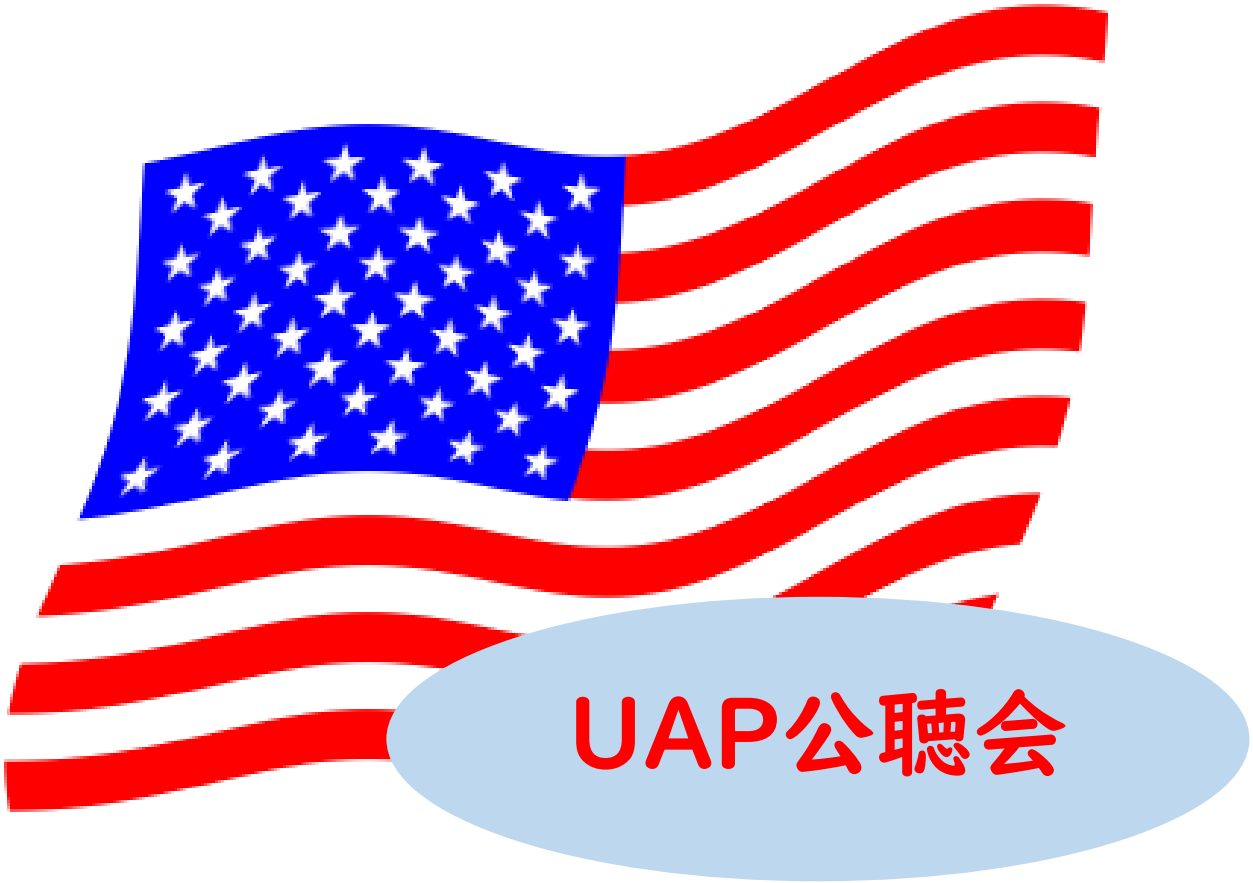
外国の敵対システム

極超音速兵器など
UAP対応強化の一番の背景

ロシア、中国などの可能性のある技術

その他

データ不足。解釈に 更なる知識が必要


UAP公聴会

公聴会の概要（22. 5）

主催：テロ対策・防諜・拡散防止小委員会
（下院 情報特別委員会）

証人：モートリー 国防次官（情報・安全保障担当）
ブレイディ 海軍情報局 副長官

AOIMSG 責任者

UAPTF 管理者

～議長開会の辞～

UAPは、潜在的な国家安全保障上の脅威である。
そして それらは、そのように扱われる必要がある。

・UAPTFの目撃情報は、400件にまで増えた。
・UAPとの交信は 試みられたことはない。
・多くのUAPは、無人機のように見える。
・地球外の物質を示唆する物質は、発見できていない。
・スティグマ [汚名：stigma（後述）]は 削減されている。
・中国は 独自のUAPタスクフォースを設立している。

・理解にはかなりの時間と労力がかかる可能性があり、
収集した情報を、あまり発表しない必要がある。

非公開での公聴会の話題

・センサーの性能変化について
・動画を捉えた マルチ・センサーデータの概要
・米軍以外の国内(民間)情報や 国外情報

社会的な汚名・烙印
[sociocultural stigmas]

- UAPの目撃は、報告したり 同僚と話題にするだけでも 誹謗中傷の材料になる。
- 科学、政策、軍、諜報の各分野の権威が 真剣に話題にする機会が増え、こうした烙印の影響は減ってきている。 が、
- それでも 評価リスクは犯したくない、と話さない目撃者は多く、真相究明が困難になっている。

Navy 2021 Flyby UAP Video

Navy 2019 West Coast UAP Video

UAP公聴会

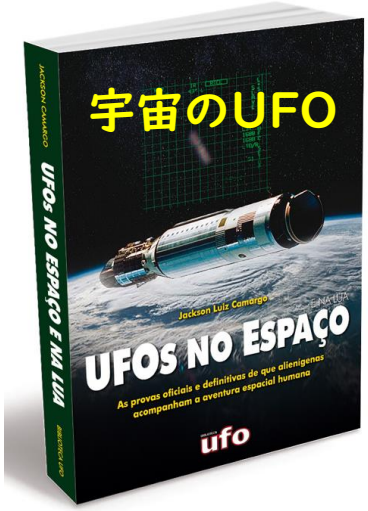
公聴会の概要（22. 6. 24）

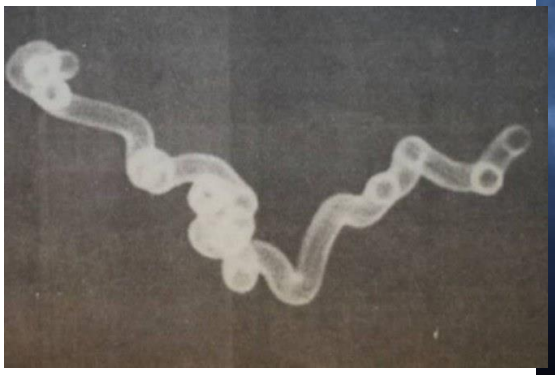
UFOの日
75周年

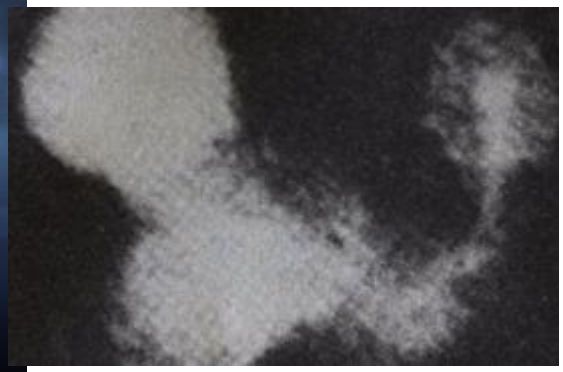
主催：ジラン上院議員
題名：Night of the UFO’s
証人：計9名（ブラジル7、招聘 米国1、英国1）

空軍機 UFO接近遭遇(1986.5.19)

ジャクソン・カマルゴ
宇宙生物学研究センター 研究員
公式文書分析スペシャリスト
UFO研究者







ミラージュF103 UFO接近遭遇時のイメージ図

・夕刻　サンパウロ近郊の空港管制塔で 空軍の管制官が目撃
その後、離れ去った

・20:00 近くの空軍訓練学校の士官候補生・将校 約200人
が光る物体目撃
・21:00 民間機パイロットが 同空港着陸時に、光る物体を目撃

その後 飛行中民間機からも 光る物体 目撃の報告が数件
空軍 及び 航空交通管制統合センター でもレーダー捕捉

・22:34 1番機 ノースロップF−5E スクランブル発進
・22:50 2番機、3番機 スクランブル発進

・22:59 3番機、捜索活動中、機体後方に多くの物体発見、
反転し 物体13機をレーダー捕捉

・23:09 2番機 22km先に 未確認物体をレーダー捕捉
直ぐ 攻撃態勢、マッハ1.3で 目標の9kmまで接近
未確認物体は 急加速し マッハ15で飛び去る

4日後、空軍は 止む無く 記者会見

航空大臣 リマ准将

パイロット5名

- 空軍 戦闘機5機が UFO 21機 を追跡した
- (地球外生命体や空飛ぶ円盤を) 信じるか とか 信じない とかではない。 技術情報を提供するだけだ
- いくつかの仮説があるが、技術的には 説明できない

公聴会の証言テーマ

元連邦副議員	銀河系での生活の可能性、ブラジル人のUFOホット度
UFO雑誌発行	ブラジルUFOの歴史
宇宙生物学研究 調査センター員	空軍機 UFO接近遭遇（1986.5.19）
電子技術者	UFO遭遇事件 チュパチュパ事件（1997.4.29）
UFOライター	スピリチュアリティとUFO研究
UFO研究会 会長	ブラジルのUFO研究の事例紹介
刑事研究所 教授	ブラジルのUFOアブダクション事件
元英国警察官	グローバルなUFO事案のレビュー
元米国空軍兵	UFOと核兵器

ご清聴
ありがとうございました